

各団体の首魁若しくは官僚幹部を配座し、總同盟の革新を期する目的として、總同盟革新同盟の名の下に、概して同盟の作化して、即除名反対の運動を起すに至った。この日除名反対の革新運動が起るや、總同盟革新同盟にして、幹部の専横と派閥の態度にありと見ゆる各地の団体は躍起して之に参加した。結果、革新同盟の運動は、日進月歩して、遂に、同盟の包含する一大勢力となり来た。

日六を除名に起って、少数の左翼分子を排斥せんとした右翼幹部は、事彼等の豫期に及らぬを見て、吃驚したが、自己の党を以て資本階級の利益を代表する彼等は、除名を遂行せば、自己の勢力範囲までも奪取せらる、恐ろしく見て、自らの輿論と反対とを重視し、無畏にも急遽、史大野百会を用いて、三十二連合の除名を決議した。

かくして、同盟の革新運動は、遂に、同盟の包含する一大勢力となり来た。日六を除名に起って、少数の左翼分子を排斥せんとした右翼幹部は、事彼等の豫期に及らぬを見て、吃驚したが、自己の党を以て資本階級の利益を代表する彼等は、除名を遂行せば、自己の勢力範囲までも奪取せらる、恐ろしく見て、自らの輿論と反対とを重視し、無畏にも急遽、史大野百会を用いて、三十二連合の除名を決議した。

が、参加した。現在の大阪全庶民労働組合の前身たる大阪進歩庶民労働組合、ゴウエ労働組合と共に、評議会創立以後、大阪地方評議会を創立した。

かく大阪地方評議会はその生誕からして、文藝的資本主義との徹底的闘争と右翼官僚幹部の白痴見主義政策との所敵たる抗争との任務を負ひ、苦難の中心生れしものである。

創立大会より今日まで約一十年間の大阪地方評議会が活動歴の如きものである。

### 失業反対運動

本報は七月十日特号に失業反対運動に因する輿論喚起の爲、身外を發行すると同時に各加盟団体に對此にバ運動を直に積極的引起すべく指令を發した。

吾が大阪地方評議会は此の指令にもとづき、七月十一日大正平公会を以て在阪友誼団体に失業対策協議会、控議として、七月十三日中東公会を以て二十四団体代表四十六人即ち總同盟を除くの外、在阪全労働団体の参加を以て、完全を成立し、第二回の会合より、總同盟も参加した。大阪共産党、東協議会は、更に関西の各失業対策協議会と関西同盟を組織し、全面的に連絡を取り、演説会並に失業若大会等によつて積極的運動と同時に